

◎ 平成27年度 第3回研修会のお知らせ ◎

省エネ技術による作物の通年供給、水素関連施設見学会
～自然エネルギーの利用と、水素社会について考える～
(CPD 対象)

大自然に囲まれた北海道は、自然エネルギーといわれる太陽光、風力、雪氷冷熱、地熱等の賦存量が多い特色があります。これらのエネルギーは、気象などの自然現象に左右され、そのままでは安定した供給が出来ません。その為、必要な時に必要な量を供給するには「蓄エネ」技術を利用する必要があります。蓄エネの一般的な方法は、エネルギーを電気に変換しバッテリー等の蓄電池に電気を溜め利用します。そこで、近年注目されている水素に着眼し、水素として蓄エネし利用する事で、北海道の自然エネルギーをもっと有効に活用できるのではないかと、という考えのもと我々委員会は活動しています。

水素社会実現には、燃料電池や水素自動車の普及と共に、水素を安定して製造・運搬・供給することが必要となります。そこで、今回の見学先である北海道曹達(株)は、化学プラント工場で食塩電解の副産物として水素が発生する事を利用し、これを場内外で再利用している工場でもあります。爆発するイメージの強い水素をどのように安全に有効利用しているのか等、製造・管理の方々にお話し頂けるものと思います。

北海道に大量にある自然エネルギーを水素に変換し、水素自動車や家庭用燃料電池が普及する未来に向けて、私たち技術士に出来ることを考えていきたいと思えます。

また、自然エネルギーを有効に利用した施設として、苫東ファームのイチゴ栽培施設の見学も予定しております。こちらの施設は、地元に賦存する自然エネルギー源(木質バイオマス等)を活用して、北海道の寒冷期に野菜や果実などを通年栽培することで、北海道農業を活性化し収穫農作物の販路拡大の可能性を探る為、国の補助を受けて建設された大規模実証実験施設です。当日は木質チップボイラーやヒートポンプなど、エネルギー利用の仕組みを見学しながら、現状の課題についても説明して頂く予定です。

施設見学会終了後は、恒例の意見交換会を行います。

熱が冷めやらぬ内に、見学先で得た知見を膨らませ、自然エネルギーや北海道のエネルギー事情及び、水素社会の未来等の話題で意見交換を行いたいと考えております。

皆様、奮ってのご参加をお待ちしております。

■開催日時

平成27年11月13日(金) 8:45~17:00

■当日の日程

- 08:45 札幌駅北口集合(受付は北口バス乗り場、富士バスにて)
- 09:00 札幌駅北口出発
札幌北IC~苫小牧東IC
- 10:00 苫東ファーム着
木質バイオマスボイラー、ヒートポンプ等見学:2時間
- 12:00 苫東ファーム発
- 12:10 グランドホテルニュー王子着
昼食:12:15~13:40
- 13:45 グランドホテルニュー王子発
- 14:00 北海道曹達(株)着
水素関連施設見学:2時間
- 16:00 北海道曹達(株)発
苫小牧東IC~札幌北IC
- 17:00 札幌駅北口着・解散 17:30より意見交換会

■会費

施設見学会(会員:2,000円/人、会友・非会員:2,500円/人)
意見交換会 3,500円/人(札幌駅北口周辺)

■申込み期日

平成27年10月30日(金)

■申込み先

下記の申込み内容をメールにてお申込み下さい。
岩本宛て(E-mail: t_iwamoto@ikedan.co.jp)
※池田煖房工業(株) TEL: 011-726-1145

■申込み内容

氏名:

所属:

連絡先:

会員区分:①日本技術士会会員、②北海道分都会友、③非会員

参加区分:A.見学会のみへ参加、B.見学会・意見交換会の両方へ参加

以下は、損害保険加入の為の必要事項です。 ※必ずお知らせ願います。

自宅住所:

自宅電話番号:

生年月日: